



ぎふ労福協

岐阜県労働者福祉協議会 編集発行人/高田勝之

vol. 114

2019.8.1

岐阜市鶴舞町2-6-7
ワークプラザ岐阜内
TEL(058)248-6029
FAX(058)245-2410

【岐阜労福協機関紙】 連合岐阜・東海労働金庫・こくみん共済coop・岐阜県勤労福祉センター <http://www.gifu-rofuku.jp/>

第65回定期総会を開催!

～労働者福祉運動で共助の輪を地域に広げよう!～



高田会長

2019年5月30日(木)ワークプラザ岐阜5F大ホールにおいて第65回定期総会を開催しました。

総会に先立ち司会の内藤副会長の進行により自然災害被災者への追悼の意と復興を願い一同起立し黙祷を捧げました。

続いて、議長に渡邊常任幹事を選出し、議長より総会役員を提案、選出しました。

冒頭、高田会長より、1.平成時代は自然災害が多く、全国に大きな爪痕を残した。令和の時代では災害のない穏やかな時代であってほしいと願いたい。2.川崎での悲惨な事件から、こうした事件は二度とおこってほしくない。地域の安全を考えた時、我々が出来ることはないか、考えることが必要である。3.沖縄での男性医師と高校生の心温まる出来事から、厚い人情もあることを改めて感じさ

せられた。4.被災者に寄り添う支援活動を今後も継続して実施したいと挨拶されました。

引き続き、来賓として、岐阜県の大城戸労働雇用課長、岐阜市の山口商工観光部長、連合岐阜の小山副会長の祝辞を受け、事業団体から東海労働金庫舟口専務理事・こくみん共済coop岐阜推進本部豊田本部長を紹介しました。

議案審議は井端事務局長から2018年度活動報告、2019年度活動方針および予算案が提案され全会一致で承認され、向こう1年間の活動方針を決定しました。続いて、向こう2年間の役員改選が行なわれ、新役員体制が確認され、新役員を代表し、高田会長が挨拶されました。最後に本年度で退任される、栗田常任幹事の退任挨拶を受け、総会は終了しました。



議長 渡邊常任幹事



岐阜県 大城戸課長



岐阜市 山口部長



連合 小山副会長



井端事務局長

岐阜県勤労福祉センター第50回定期総会を開催



総会風景

5月30日に岐阜県勤労福祉センター第50回定期総会を開催しました。

総会は議長に佐藤代議員(JP労組)を選出し、高田理事長より出席会員への感謝とワークプラザ岐阜及びライフサポートセンター岐阜の現状と、今後の課題や更なる協力を求める挨拶を行い議事に入りました。

議事では井端専務理事より役員改選の件、理事及び監事の報酬等の件、貸借対照表及び損益計算書、財産目録の件について提案し、全会一致で承認決定しました。

NPOステューデント・サポート・フェイス代表理事 谷口仁史 氏の記念講演会開催



講師 谷口仁史氏

第65回定期総会終了後に恒例の記念講演会を開催し、定期総会参加者を始め、各組織および地域住民125名の多くの方に参加していただきました。

今回は、ひきこもり、家庭内暴力、不登校、非行、ニート、若者が抱える問題に真正面から立ち向かい「どんな境遇にある若者も見捨てない」と、困難を抱える子ども、若者に対し、アウトリーチ(訪問支援)と呼ばれる「攻める支援」を実践し、改善率9割と言われる、谷口氏を招き、実際の取り組みについて、2時間の講演でした。

今回の講演では、会員組織だけでなく、岐阜県、岐阜市、瑞穂市の関係者や、実際に今こうした問題を抱えている多くの方々に参加いただきました。また、講演終了後も個別相談を希望される参加者が多く、谷口様のご配慮もあり、1時間を超え対応いただきました。今回の講演内容は現代社会が抱えている、大きな問題の一つとして、どのような対応方法があるのか、ヒントになったのではないかと思います。

中恵支部定期総会



労福協中恵支部の2019年度定期総会は、6月10日に東海労働金庫中津川支店に於いて開催しました。

来賓として、岐阜労福協から高田会長、中津川市から園原商工観光部長、国民共済coop岐阜推進本部東濃支所から長屋支所長および顧問議員団を招きご挨拶をいただきました。

総会では2018年度の総括と、2019年度の方針・活動計画、予算を審議し、満場一致で承認されました。また、労働組合や事業団体が労働者の暮らしを守る中心組織として「人と暮らし、環境にやさしい福祉社会の実現」に向けて活動することを確認しました。

中濃支部定期総会



中濃支部は2019年度定期総会を、6月18日KYB労働組合研修センターにて開催しました。

石川副支部長の挨拶で始まり、県労福協の井端事務局長より激励の挨拶を頂戴しました。

議事では、2018年度総括と2019年度活動方針・新役員の承認等の諸議案を審議し、満場一致で承認されました。

活動方針では、連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会の実現に向けて、労働福祉事業団体の連携強化、文化・体育活動や生涯福祉の充実、会員間・事業団体との連帯を深める活動を行っていくことを確認しました。

飛騨支部定期総会



飛騨支部の定期総会は6月19日「ろうかん」において開催しました。田中副支部長を議長に選任し、小井戸支部長から活動への御礼と取組みへの挨拶で始まり、県労福協の高田会長より激励のご挨拶を頂きました。議事として2018年度総括と2019年度活動方針・予算についての審議と役員改選報告が満場一致で承認されました。活動方針では、「なんでも相談会」「飛騨勤労者サポートセンター」事業の相談業務の充実、各種スポーツ大会も健康推進と体力向上を目的に開催し、地域課題を三市一村の自治体へ要請します。地域の生活支援を進める為、東海労金高山支店、こくみん共済coop高山支所と連携し活動を推進します。

岐阜支部定期総会



岐阜支部は、第57回定期総会を6月20日(木)「ワークプラザ岐阜」において、県労福協の高田会長を招いて開催しました。2018年度の総括と2019年度の活動方針・予算について審議し、満場一致で承認されました。

活動の基本として①会員拡大と支部体制の充実②会員及びその家族の交流を深めるため、「文化・体育活動」の充実③勤労者福祉の向上と各労働福祉事業団体との連携④地域福祉の向上と実現⑤働く人たちが豊かになる活動⑥社会貢献活動及び教育活動の推進について確認しました。

西濃支部定期総会



労福協西濃支部の第58回総会は、6月21日にサンワーク大垣にて開催しました。冒頭、堀支部長からは、メーデーなど働く人のための活動の継続、震災への対応や災害復興支援への取り組み、そして子どもの貧困への取り組みなどについて触れ、挨拶しました。また、県労福協の井端事務局長より挨拶をいただきました。議事として、2018年度活動報告、決算報告を行い、満場一致で承認され、その後、第1号議案から第3号議案まで2019年度活動方針、予算、支部役員について、満場一致で承認されました。最後に、退任役員よりご挨拶をいただき、閉会しました。

土岐支部定期総会



労福協土岐支部の第65回定期総会を、6月27日(木)土岐市の「セラトピア土岐」にて開催致しました。冒頭、加藤寛二支部長が挨拶したのち、ご来賓の高田勝之会長より岐阜労福協の勤労者福祉活動についてご挨拶を頂戴しました。その後、2018年度の支部活動の総括と2019年度の活動方針や役員変更等の諸議案を審議し、満場一致で承認されました。

今後も労働福祉事業団体との連携を密に図り、連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会の実現に向けて、奨学金制度の拡充や生活困窮者対策など、社会運動や文化・体育行事にも精力的に取り組んでいくことを全員で確認しました。

東海労働金庫通常総会



6月24日に名古屋市の「ウインクあいち」において東海労働金庫第19回通常総会が愛知・岐阜・三重地区の各県から多数の代議員が出席し盛大に開催されました。

土肥理事長の挨拶に続き、来賓として各自治体・労働団体・福祉事業団体の各代表者が挨拶されました。

議案審議は19期剰余金処分案と第8期中期経営計画及び令和元年度事業計画・財務収支計画が提案され全会一致で承認されました。

今回、大澤専務が退任され、高尾専務が就任されました。

岐阜労済総代会・こくみん共済coop岐阜推進本部組員代表者会議



7月30日にワークプラザ岐阜において、岐阜県労働者共済生活協同組合第61回通常総代会およびこくみん共済coop岐阜推進本部第2回組員代表者会議が県下各地より多くの総代・組員代表者が出席して開催されました。豊田理事長(本部長)の主催者挨拶および来賓挨拶につづき、鈴木専務理事(事務局長)より2018年度事業報告・決算報告と2019年度事業計画・予算案等が提案され満場一致で承認されました。

また、役員改選により、豊田理事長(本部長)、櫻井副理事長(副本部長)、森田専務理事(事務局長)の選任も承認されました。

中央労福協「全国研究集会」 熊本市で開催



《挨拶》中央労福協神津会長

6月7日～8日に2019年度全国研究集会が熊本において、全国各地から380名の参加のもと開催され、岐阜からは会長をはじめ5名が参加しました。

研究集会は主催者を代表して、神津中央労福協会長の挨拶に続き、来賓として蒲島熊本県知事と共に、営業部長兼しあわせ部長のくまモンも登壇し、県知事から挨拶を受けました。続いて開催県を代表し、友田熊本県労協理事長から、熊本地震以降、全国の皆様からの温かいご支援が大きな励みとなり、復興への大きな力となっていること、まだまだ時間を要するが、しっかりと復興への歩みを続けていきたいと、力強いご挨拶をいただき、その後、講演に入りました。



蒲島知事とくまモン



友田 孝行理事長



全国研究集会会場風景

今回の特別講演は、特定非営利法人「抱僕」理事長の奥田知志氏より、「共生社会とは何か」～いのちの普遍的価値と家族機能の社会化について～をテーマに講演を受けました。2016年7月に相模原で起きた障害者施設の事件が意味することを題材に、共生とは「いのちという普遍的価値に立つことであり、生きることの意味がある！」また、その生きることの大変さを、共生社会では引き受けていく必要があることを学びました。

続いて、「2040年に向かう地域と生活保障」～中央労福協70周年に寄せて～をテーマに中央大学法学部教授の宮本太郎氏から講演を受けました。午後からは、中央労福協の花井圭子事務局長をコーディネーターとして連合南部副事務局長、労金協会佐藤常務理事、こくみん共済coop稲村常務執行役員、日本生協連和田専務理事、ワーカーズコープ古村理事長により「支え合い・助け合いで、誰ひとり取り残さない福祉社会を！」をテーマにパネル討論が行なわれました。

「協同組合を考える集い」に参加

国際協同組合同盟が毎年7月の第一土曜日を国際協同組合デーと定め、全世界の協同組合員が心をつなげて協同組合運動の発展を祝い、平和とより良い生活を築くために、運動の前進を誓い合う日と位置付けられています。

岐阜県では、7月12日に岐阜市内のホテルパークにおいて「協同組合を考える集い」が開催され、労福協も福祉事業団体と共に参加しました。

集会は岐阜県協同組合間提携推進協議会座長、李侖美氏より、挨拶と課題提起、岐阜県農業協同組合中央会、渡邊健彦常務理事から情勢報告があり、その後、事例報告として、日本協同組合連携機構副主任研究員、阿高あや氏より「協同組合の連携によるSDGsの実践事例」について講演いただきました。最後は、奈良女子大学生活環境学部、中山 徹氏より「人口減少社会における協同組合の役割」と題し講演いただきました。



各種セミナーのお知らせ

岐阜労福協主催

● 理念・歴史・政策セミナー

講師／労働者福祉中央協議会
講師団講師 山本 幸司氏



テーマ／(仮) 労働者自主福祉運動を
新しいステージに前進させよう!
～歴史に学び「共助の創造と
公助の再構築」について～

岐阜地区

日時／2019年9月26日(木) 18:30～20:00
会場／ワークプラザ岐阜 5F大ホール

飛騨支部

日時／2019年11月13日(水) 18:30～20:00
会場／飛騨地区労働者福祉会館(ろうかん) 3F

中恵支部

日時／2019年11月14日(木) 18:30～20:00
会場／東海労働金庫 中津川支店 2F

お問合せ、お申込は岐阜労福協まで